

(様式第4号) 上田市庁舎改修・改築検討委員会 会議概要	
1 審議会名	上田市庁舎改修・改築検討委員会
2 日時	平成28年11月8日 午前10時00分から午後11時45分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出席者	高木直樹会長、丸山正明副会長、伊藤英一委員、小野将司委員、金井美奈子委員 沓掛由利子委員、小山陽三委員、藤川まゆみ委員、不破泰委員、宮本智夫委員
5 市側出席者	小野塚財政部長、清水契約管財担当参事、峰村都市建設部長、田村建築課長、 馬場契約管財課長、若林工事検査政策幹、小林庁舎管理係長、三井建築係長、 渡辺公共施設マネジメント係長、宮原建築課担当幹、吾妻契約管財課主査、 野田建築課主任、荒木建築課主任
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 3人
8 会議概要作成年月日	平成28年11月18日
協議事項等	
1 開会(馬場契約管財課長)	
2 報告事項	
(1) 第3回検討委員会の視察研修について	<ul style="list-style-type: none"> 10月24日に実施した第3回検討委員会(小諸市役所及び長野市役所の視察研修)の概要について馬場契約管財課長から資料に添って説明
3 検討及び協議事項	
(1) 庁舎の機能について	<ul style="list-style-type: none"> 馬場契約管財課長から市役所庁舎の役割、庁内でまとめた現庁舎の現状と課題の整理と新庁舎の機能について概要を資料に添って説明
以下、庁舎の機能について、委員から出された意見の概要	
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> 重油や軽油は、蓄積ができる特性を持っている災害時の重要なライフラインなので、その輸送・搬入ルートを確認する必要があるとあり、庁舎建設時にも配慮が必要である。 「より安全な情報セキュリティ対策」の点で、堅牢な部屋にサーバーを置く以外にも外部のデータセンターを活用という方法もある。その場合、庁外とのネットワークの整備をしておかなければいけないが、「とにかくサーバールームを設ければ良い」ということではなく、「情報設備はどうあるべきか」を検討したうえで、その設計を建物に反映させる必要がある。
(委員)	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場を何処に何台確保するかによって市役所のレイアウトに大きく影響するので、上田市が今後、「街全体をどのように作っていくのか」という方向性の基に、「駐車場は今後、減らしていったほうが良いのか、増やしていったほうが良いのか」を考えないといけない。現状のみを捉えて考えると、後で駐車場が足りなくなったり、過剰設備になったりすることが、十分あり得る。 「事務の効率化のための機能」、「人員の増減に柔軟に対応」と書いてあるが、今後、「増」というのはあるのか、という疑問がある。市役所の職員数についての方向(計画)をきちんと反映するという事も必要である。 「効率的な文書の保管、保存」というと、身の回りに書類を保管したいという内部的なニーズが挙がってくるが、それと市民のためのワンストップサービスを両立させるのは、なかなか難しい。例えば、文書を全部デジタル化して、コンピュータで管理すれば、離れた所に置けば良い。設計上、スペース的に大きく影響する要素なので、文書保管の現状と今後どうするかを、市役所の内部で検討してほしい。

- ・ 庁舎建設や引越し時以降、将来的に「南庁舎」をどのように使っていくのか、新庁舎との機能分担等ある程度、方向性を検討して、対応を考えていただきたい。そのためには、先進事例を調べたうえで、検討すると良いのではないかと思う。

(委員) ・ 長野市は、トイレの水に地下水を利用していた。「土地の利」を利用してとても良い取り組みだと思った。

上田市の庁舎の敷地で、どういう「自然的なもの」が利用できるかは、他所には真似ができないものなので、独自のものを考える必要があると思う。

雨水の利用については、このエリアは雨が少ないので、果たして、利用がどこまで現実的なのか、というのは、検討する必要があると思う。

震災の時に困るのは、やはりトイレなので、給排水をどのように確保するか、というのが一番大きなポイントになる。特に、最低限、身体に障がいがある方だけでも利用できるようなエリアとして、市役所に機能が在るように希望する。

- ・ 初めて市役所を訪れる方が、間違えずに目的の所へ行けるためには、「わかりやすい窓口表示」、「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」というのは同じ視点で考えていく必要があると思う。

トイレの位置は、各階バラバラに考えるのではなく、統一的な考えで作れば、目当てがつけやすい。トイレの位置は配管を考えると具体的には、エレベーターや階段の近くに集約することが必要となるし、多目的トイレが、各階に一つずつしかなく、ある階が使用中であれば、エレベーターを使って他の階に行くなどの際、利便性を考えると、そういう(位置の)仕組みが必要になると思う。

具体的な設計に入る場合には、「わかりやすい表示」、あるいは「利用者が安心・快適に」ということは、総合的に一つの考えとしてまとめていく必要がある。

- ・ 小諸市役所も長野市役所も併設施設があるので、訪れる主目的はそれらの施設で、「ついでに市役所に来よう」という方の利用があるのかもしれないが、上田市の場合は、「市役所に行かねばならない」という方が利用の基本になるような気がする。

その際には、公共交通機関の利用も含め、庁舎へのアクセスを、具体的・独自に考えないといけないと思う。

(委員) ・ 環境への配慮については、意識して自然エネルギーなどを利用することによって、コスト削減にもなると考える。それらの施設は「後付け」は難しいので、最初に設置し、長年使用することで、全体のコストをかなり削減することができると思う。

地下水や雨水についても、利用が可能か、ぜひ調査をしてほしい。

植栽への水やりの雨水利用は十分できるのではないか。

緑の活用は、植栽は木陰や蒸散作用によって夏場の暑さを和らげるということもある。

一度植えて育てば、コストはかからないので、最初に設置すれば、かなり効果があるものもたくさんあると思う。

自然エネルギーの有効活用ということで、太陽光パネルを多く設置できる屋根の設計というのはどうか。非常用発電機などに、大量の電気が得られるわけではないかもしれないが、ある程度、日が差していれば、太陽光の電気を使い、燃料は必要ないので、できれば最大限の太陽光パネルの設置を希望する。

冷暖房については、電気利用だけでなく、蓄熱槽の設置による地中熱利用も検討していただければと思う。また、木質バイオマスによる冷暖房の技術も進んでいる。

市役所庁舎は、環境への配慮についての「取り組みを先導していく」役割も担っているということなので、そのような施設の「後付け」は難しいので、最初に、十分な検討ができればと思う。

- (委員) ・ 現時点で考えた場合は、こういう形(説明を受けた)で良いかなという感じがする。ただ、「10年、20年、30年先はなるのかな」ということまで考えないといけない。今の庁舎も建築当時には考えたのだろうが、時間が経つと、このような形(様々な課題が生じている)になっているので、上田市の状況、人口構造だとか人口減や少子高齢化の現状を踏まえて、「市役所の機能とは何だろう」と考える必要がある。これから、ますます、情報機器の発達、OA化等によって、例えば、住民票、印鑑証明などは、市役所でなくても取得できる。そうすると、「市役所の機能が10年、20年経った時にどうなっていくか」ということまで考えながらやらないと、現状だけで考えてしまうと、違った形になってしまう。今考えられる良いものは取り入れながら、将来の事も考えないといけない。基本的な考え方が甘いと、難しくなるのかなと思う。
- (委員) ・ 図書館の分館機能が市役所の中にあって、市役所に来たときに、あらかじめネットで予約した本がピックアップできるような機能を検討してほしい。
・ 住民票は、本庁舎に来なくても支所等でも取得できるようになっている。同じように、(市民が)よく使う機能は、市役所に来なくても良い様になると、その庁舎の機能をかなり小さくすることができる事もあるはず。
全く新しい事を考えるのは大変だが、先進事例から、できるものを取り入れることはあり得る。
- (委員) ・ トイレの水に井戸水を使用している病院もある。地下水の検査をして、利用が可能で、コストが下がるのであれば、ぜひ、検討していただきたい。
・ 今後、高齢化により、高齢者やその家族が抱える問題が、多くなるのではないかと。小諸市役所は、相談室が細かく設置されており、そのような相談の場を使用されているのではと思った。
また、「障がい児童」について、市へ相談等する場合、検診等は「ひとまちげんき健康プラザうえだ」で、福祉の相談は「南庁舎」、学校手続きは「教育委員会」に行かなくてはならない。
現状、上田市のいろいろな部署は点々としているので、手続きに、一日仕事を休んで、全部の部署を回らなくてはならないという現実をお聞きした。できる限り、1か所にまとめる方が良い。
・ 小諸市役所は、フロアの両側に部署があり、中央(通路・待合などの共用部分)のスペースがすごく広がった。今の上田市は、申請書を記載台で立って書かなくてはならないが、小諸市役所は、お年寄りが座って書く所がある。(フロア内の配置は)そのような場所を設けたとしても、「狭く感じない」という事も必要だと思う。
- (委員) ・ 議場の反響音、反射音が多く、会話が聞こえづらいことが、建設後に、判ったという事例があった。このことは、天井、壁、床の材質でクリアできるので、設計段階で留意し、残響関係を特に気を付けていただければ良いと思う。
- (委員) ・ 市役所のこれからの機能の中で、職員数も減ってくるだろうが、現在、会議室が無くて困っているので、打合せなどの会議スペースが、多く必要だと思う。ただ、建築費等と兼ね合わせなければならない。
環境面など、色々な事を全部クリアするとなると、お金がいくらあっても足りなくなってしまう。住民から見た場合、(機能と費用の)どの辺が一番の接点なのだろうかという問題が一番、重要になってくるという感じもした。

(委員) ・ (今のご意見は)いわゆる「生涯学習センター」のような機能が、市役所内に設けられていれば、職員の会議だけでなく、市民にとっても、使用できる場があるというご意見ではないか。

機能を整理していったら、結局、市庁舎には誰も来なくて、職員だけが来れば良いというのでは、愛される市庁舎は、なかなか作れないので、市民が「止むを得ず来る」のではなく、「来ることに意味がある」様な機能があっても良いのかもしれない。

(委員) ・ 機能という点から、現在、教育委員会、健康プラザ、上下水道局というように、庁舎が分散されているが、「市民の利便性を考えた場合に、(一つの)庁舎の中に全部入ってもらえば、一番良いということで、それも含めて」改築を検討していくのか、「今までどおり、分散したまま」にするのか、いろいろ考えていくと、(出されている)機能を満たすには、果たして、以前、例示された5階建のスペースで足りるのかが、ちょっと心配になる。

・ 議会や議場についてが、(資料中)どこにも出ていない。

小諸市役所はコンパクトな議場、長野市役所は余裕のある議場となっている。

議場は自ずと庁舎に入ると思うが、(議場について)今の段階では(資料では)わからない。

・ 小諸市役所も長野市役所も敷地外に駐車場がある。

場所によっては市役所からとても遠く、そこへ駐車し、交通機関を利用して市役所に来るとするのも変な話だ。敷地外に確保する場合、距離が短めな場所を、と考えると、駐車場の確保は、なかなか大変だと思っている。

(会長) ・ 建物の大きさに関しては、法律の規制、色々なルールがあるので、限界値を示してもらった上での議論となる。

現在の庁舎の建物全部を壊して、更地にして、そこに建てるなら、自由度があるが、庁舎のメイン部分は残して、使いながらの新築となるので、どうしてもない部分があり、やたらに大きくするのはかなり難しいかと思う。

今、意見があった、駐車場まで含めて、どうするのかというのは、ものすごく悩ましい。長野市も相当大変だったと思うが、ここ(上田市)もかなり大変だと思う。

・ よろしいか。(機能については)かなり、様々な意見が出ているので、次のステップに進む時の参考としていただく、という事でよろしいかと思う。

次の(2)について、説明願いたい。

(2) 市役所の位置及び庁舎の規模について

・ 馬場契約管財課長から、市役所の位置及び規模について、若林工事検査政策幹から現在の市役所敷地で建築可能な規模、建築例について、資料に添って、概要を説明

以下、市役所の位置及び庁舎の規模について、協議及び検討の概要

(会長) ・ 場所については、現状の位置が有利だというのが、事務局から提案されている資料になる。大きさについては、色々な規制があって、延床面積10,000㎡程度。

現在の本庁舎を壊した跡に、駐車場の事を一切考えなければ、かなり大きいものはできるが、そこまでいくか、どうか、という問題もある。

場所は非常に重要なので、ここで、コンセンサスがあった方が良いと思うが、現状の位置が優位ではないかという今の資料について、何かあればお願いしたい。

(委員) ・ 駐車場スペースの問題等総合的に考えて、現在の庁舎敷地内では、これ(資料中の図の建築例、以下「建築例。」)しか考えられないというように思われるが、今使っている本庁舎の低層棟の2階部分を壊して、(建築例のように)ここに作るという形になると、ここで業務していた職員はどこへ行くのかという心配もあるが、(建築例の)現在の西庁舎と低層棟のところにかかっている部分だけ、もう少し、(隣接する)二中のグラウンドの方へ(西側に)移せば、駐車場も広くなって、現在の低層棟の2階建て部分も触らない(壊さない)で済むのではないか。そういう考え方も一つの方法として考えていかなければいけないかと思う。

(事務局) ・ 二中は出来たばかりで、教育委員会、PTA、学校関係者と協議して、あの位置で整備をしたという、事もあり、現段階で、(建築位置を移す)検討というのは難しいと思う。
ただ、日影の規制については、二中のテニスコート部分だけに係るという事であれば、相談や協議を必要であれば、そういう段階でやることはあるかと思うが、(敷地と建築位置を移す)というのは、今の段階では難しいと思っている。

(会長) ・ 日影に関しての問題であるなら、議論の余地はあるということでご理解いただきたい。あと、何かあるか。特に位置については、やはり、現状の位置でよろしいか。
一応、前にもそういう方向性は出ていたので、この委員会としては、市役所の位置は、現状の市庁舎の敷地の中で、なんとか「やりくり」していただくということにしたい。
・ 規模に関しては、基本は、まず、第一段階、現在の本庁舎の高層棟に手を付けられない限りは、オレンジ色の部分(資料中の図、現在の本庁舎の低層棟と西庁舎を解体した位置に、新庁舎を建築する場合として示した、新庁舎の建築例、5階建、延床面積1万㎡程度、以下「オレンジ色の部分。」)が、一応、限界である。
ひょっとしたら、(日影規制について)二中と協議で、もう1階分ぐらい(高さを)上げられるのかどうか。
ただ、景観条例の25メートル(の高さ)制限は、守るという事だろうと思う。
色々な検討をした上で、必要であれば、黄色の部分(資料中の図、現在の本庁舎の高層棟の解体後、新庁舎に増築する場合として示した、増築庁舎の建築例、5階建、延床面積3千㎡程度、以下「黄色の部分。」)のように増築は可能であり、(敷地内の)駐車場の事を無視すれば、この増築の面積の増も可能だが、今の段階で、これ以上の議論は無理だと思うので、止むを得なければ、そういう可能性もあるということである。
・ (庁舎と)駅との間で、シャトルバスを出すことによって、市民に、「基本的には駐車場はないですよ」というコンセンサスが得られればもっと大きくできるかもしれない。
そうすれば、色々な機能を全部、ここに集められるかもしれないが、今、使っているここ(集約により空く、分散していた事務スペース)をどうするか、という別の問題が出てくる。
それらも含めて、黄色の部分に関しては、今後、検討の余地は十分にあるという事だろうと思う。
当然、(耐震補強する)南庁舎も、今後、何十年も(使用できる)というものでもないの、その方向性も含めた上で、考えなければいけないのかもしれない。

(委員) ・ 駐車場について、この建築例のレイアウトの場合、現在の本庁舎の高層棟が地下2階まであるので、そこを加工し、地下駐車場を作れないか。
地下駐車場は、コストが係るが、わざわざ、掘らなくても良いので、コストはかなり落とせるのではないか。また、駐車場以外にも災害時のシェルターや、倉庫など多目的に使用が可能なので、どうか。

(事務局) ・ 事務局でも、現在の本庁舎の地下を利用して、地下駐車場にならないかということは、検討はしなくてはいけないと思っている。

小諸市役所の地下駐車場の場合、段差のある敷地の地形をうまく利用して、南側に出入口を設けていた。

ただ、(小諸市役所の)北側にあったように、入口の斜路、斜めに下る道といったものを考えなくてはいけないので、(上田市の)現在の庁舎敷地で斜路を作った時に、どうか、ということまで総合的に考えてレイアウトしていかなくてはいけない。検討材料である。

(委員) ・ 立体駐車場の検討はされているのか。

(事務局) ・ 長野市や小諸市にも立体駐車場はあったが、もちろん、そういうことも、検討はしている。ただ、現在の庁舎敷地の場所で、立体駐車場が可能か、という問題もある。

庁舎の周辺にある市有駐車場、上下水道局や東庁舎の庁舎や敷地、市が借用している駐車場、周辺の民間所有の駐車場、そういった幾つかの駐車場を総合的に絡めて、立体駐車場が可能かどうか、また、昇降路が必要なので、台数も平面の駐車場の倍にはならない等、あわせて、土地が確保できるかという問題もあり、トータルで考えて、その可能性も探らなくてはいけないと思っている。

黄色の部分のように増築する場合は、敷地内の駐車場が減るので周辺土地の有効利用も含め、トータルで考えていかなければならないと思っている。

(委員) ・ 庁舎の大きさについて、どれぐらいの大きさが妥当なのか、ということは判らないが分散している機能を集約するのか、しないのか、によっても変わってくる。

分散している建物がある中で、集約した場合、そういう建物をどのように使っていくのかを検討しなければ、不要な建物がどんどん増えていってしまうと思うので、その辺をぜひ検討していただきたい。

(事務局) ・ 建築例の規模をみて、当然、集約はどうか、という話にはなると思う。

職員の定員数などから、将来を見て、面積がどれくらい必要かということになるかと思う。

(現在の庁舎面積の)約8,600㎡が、建築例のオレンジ色の部分の庁舎面積は約10,000㎡なので、1,400㎡が増えるという状況。

増える部分に、上下水道局、あるいは教育委員会が入るか、普通に考えれば、少し厳しいなと想定できる。

・ 黄色い部分もトータルすると、計算上では約13,000㎡になるが、教育委員会が約1,100㎡なので、面積の数字だけでは入るが、(その他の)違うものを入れたときにどうなるかといった事をトータルで考えないといけない。

・ 集約するのは、一番、理想的かと思うが、規模、事業費の制約が出てくる。集約するか、現状のままか、他のやり方がないか、ソフトの扱いで対応できないか等、トータルで考えながら、規模はいろいろ検討しなければいけないと思っている。

(委員) ・ 駐車場のことは大きな問題だが、市役所へは、歩いて来ましようとか、自転車を使いましようとか、(それに伴い)自転車道の整備など簡単ではないが、駐車場を十分用意することを目指すだけでなく、「近い人は是非、市役所には自転車や歩きで来て下さい」といった呼びかけも大事なことだと考える。

市は「健康都市」を掲げているのでそういった働きかけも並行して行うべきではないかと思う。駐車場の用意とあわせ自転車置き場の整備なども考えていただきたい。

(会 長) ・ この検討委員会で「改築のほうが有利」ということを決めたときの議論として、耐震改修をした場合と改築した場合の事業費についてのことが、大きく、「このぐらいの違いだったら、改築しましょう」というのが、そもそものスタートで、金額は今後、大きくなると思いますよと申し上げた。

今日は、お金のことはともかく、どういう機能が欲しいかという議論をしているので、どんどん広がった議論になっていってしまうが、現実問題としては、もともとのスタートは50億(改築)と40億(耐震改修)の比較だったのが、(改築が)100億になってしまったという訳にはいかないと思う。

その辺の落とし所をどうするのか、駐車場はとにかく大きな問題で、実際問題としては、面積もとるし、立体駐車場にすると、ものすごいお金がかかるし、という問題があって、本当にそういうものが必要なのかというのは、ギリギリまで考えないと、たぶん、難しいと思っている。

市民の方の意識の問題として、「市役所は車で行くところ」から、「市役所は歩いて行くところ」、あるいは「自転車で行くところ」という意識啓発は、市民の健康のためにも悪いことではないと思うので、そんなことも含めて、ぜひ検討していただければと思う。

協議結果 検討委員会としては、現在地において改築する方向でまとまった。

(3) その他

次回会議の日程の連絡

・ 第5回検討委員会は12月16日(金)の午後開催予定、詳細の時間、場所は改めて通知。